

|                    |  |   |    |               |        |      |    |
|--------------------|--|---|----|---------------|--------|------|----|
| 科目名<br>Course Name | 生活支援技術VI<br>Independent Living Skill VI  |   |    | ナンバリング<br>No. | J3-002 |      |    |
| 年次                 | 2年   | 期別  | 前期 | 単位数           | 1      | 授業形態 | 演習 |
| 担当者氏名              | 和田 晴美  |   |    |               |        |      |    |
| 連絡方法               | C-Learning で対応。 または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。  |   |    |               |        |      |    |
| 必修/選択              | 選択(介護福祉士養成課程必修)  |   |    |               |        |      |    |
| 関連 DP              | DP2,DP5  |   |    |               |        |      |    |
| 授業の概要と<br>到達目標     | <p>安眠をもたらす環境について理解し、安眠・安楽への基本技術を習得する。また、疾病に起因する内部障害の特性、障害による具体的な生活課題と生活上の留意点を学習し、適切な介護を行うための知識・技術、および家族への支援を習得する。</p> <p>①安眠をもたらす環境について説明でき、安眠・安楽のための技術を実施できるようにする。<br/>②内部障害の種類と原因、および生活課題を列挙できるようにする。<br/>③内部障害のある利用者の介護における留意点について、具体的に説明できるようにする。<br/>④内部障害児者の家族への支援の必要性と方法について説明できるようにする。</p> |   |    |               |        |      |    |
| 授業の方法              | 主に講義形式で授業を進める。利用者の生活上の留意点や利用者および家族に必要な支援については事例を挙げながら説明し、具体的に考える機会を持つ。また、医療的処置については、イメージしやすいように実物を提示する。安眠・安楽の援助に関しては演習を行う。   |   |    |               |        |      |    |
| 学習成果               | L01  | 安眠をもたらす環境を整え、安眠・安楽のための支援方法を選択し実施することができる。内部障害の症状や内部障害児者の生活課題に関する基礎知識をもとに、内部障害児者および家族介護者に対する支援を行うことができる。 |    |               |        |      |    |
|                    | L02  | 医療的処置を必要とする利用者に対しては、介護福祉士として支援すべきことについて、説明することができる。   |    |               |        |      |    |
|                    | L03  |   |    |               |        |      |    |
|                    | L04  |   |    |               |        |      |    |
| 課題に対する<br>フィードバック  | 小テストは終了後その時間内で解答・解説を実施する。  |   |    |               |        |      |    |
| 教科書/<br>参考図書       | 教科書:最新・介護福祉士養成講座 第8巻「生活支援技術Ⅲ」中央法規出版  |   |    |               |        |      |    |
| 履修上の留意点<br>やルール等   | 「こころとからだのしくみⅠ～Ⅳ」「発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ」を復習して授業に臨むこと。講義・演習とも積極的に取り組み、演習時は身だしなみを整えること。机上に携帯電話、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。   |   |    |               |        |      |    |
| 担当教員の実務<br>経験      |  |   |    |               |        |      |    |

| 成績評価の方法と基準    |  |         |     |     |     |
|---------------|--|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域         | 評価基準   | 学習成果の割合 |     |     |     |
|               |  | L01     | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度        | 既習内容の復習および教材の準備をして授業に臨み、必要なことはノートにとり、わからないことは質問すること。               | 20      |     |     |     |
| レポート/作品<br>発表 |  |         |     |     |     |
| 小テスト          | 第5、9、13回目に、それまでの学習内容に関する小テストを実施する。内部障害に関する医学的知識、生活支援技術等を理解できていること。 |         | 30  |     |     |
| 試験            | 授業の振り返り、知識習得の確認のために試験を行う。問題は文章の正誤を判断するものや、穴埋め問題、言葉の意味を説明する問題等。     |         | 50  |     |     |
| その他           |  |         |     |     |     |
| 合計            |  | 20      | 80  |     |     |

| 回数 |         | 授業計画                                       |
|----|---------|--|
| 1  | 授業内容    | ガイダンス、安眠・安楽をもたらす支援技術① 休息・睡眠の介護、環境整備        |
|    | 事前・事後学習 | ぐっすり眠れる条件を列挙する。                            |
| 2  | 授業内容    | 安眠・安楽をもたらす支援技術②【演習】                        |
|    | 事前・事後学習 | 生活支援技術マニュアル P96～P101 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。  |
| 3  | 授業内容    | 内部障害とは① 定義、内部障害児者の現状                       |
|    | 事前・事後学習 | テキスト目次から、内部障害を書き出す。                        |
| 4  | 授業内容    | 内部障害とは② 内部障害児者の生活課題                        |
|    | 事前・事後学習 | 小テスト範囲(第1回～第4回)の勉強。                        |
| 5  | 授業内容    | 【小テスト① 解答・解説】 心臓機能障害① 医学の基礎知識              |
|    | 事前・事後学習 | テキスト P75～P86 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。          |
| 6  | 授業内容    | 心臓機能障害② 障害に応じた生活支援の理解                      |
|    | 事前・事後学習 | テキスト P87～P90 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。          |
| 7  | 授業内容    | 呼吸器機能障害① 医学の基礎知識                           |
|    | 事前・事後学習 | テキスト P91～P107 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。         |
| 8  | 授業内容    | 呼吸器機能障害② 障害に応じた生活支援の理解                     |
|    | 事前・事後学習 | 小テストの範囲(第5回～第8回)の勉強。                       |
| 9  | 授業内容    | 【小テスト② 解答・解説】 腎臓機能障害① 医学の基礎知識              |
|    | 事前・事後学習 | テキスト P108～P115 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。        |
| 10 | 授業内容    | 腎臓機能障害② 障害に応じた生活支援の理解                      |
|    | 事前・事後学習 | テキスト P116～P120 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。        |
| 11 | 授業内容    | 膀胱・直腸機能障害① 医学の基礎知識                         |
|    | 事前・事後学習 | テキスト P121～P133 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。        |
| 12 | 授業内容    | 膀胱・直腸機能障害② 障害に応じた生活支援の理解                   |
|    | 事前・事後学習 | 小テストの範囲(第9回～第12回)の勉強。                      |
| 13 | 授業内容    | 【小テスト③ 解答・解説】 小腸機能障害 医学の基礎知識、障害に応じた生活支援の理解 |
|    | 事前・事後学習 | テキスト P134～P145 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。        |
| 14 | 授業内容    | HIV による免疫の機能障害 医学の基礎知識、障害に応じた生活支援の理解       |
|    | 事前・事後学習 | テキスト P146～P157 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。        |
| 15 | 授業内容    | 肝臓機能障害 医学の基礎知識、障害に応じた生活支援の理解               |
|    | 事前・事後学習 | テキスト P158～P169 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。        |